

No. 1500

科学万博オープン

— 茨城・つくば —

皇太子・同妃両殿下と礼宮さまが科学万博開会式を前に会場を御視察になられました。

立派に完成した政府館や各パビリオンに御満足の様子で展示品や映像に御関心を示されました。

3月16日、21世紀への夢をのせてつくば学園都市の会場で「科学万博——つくば'85」の開会式が行なわれました。

皇太子御夫妻を始め3700名の招待者、関係者が出席。エキスポ・マーチの流れる中、参加国の国旗と各国のコンパニオンが自国語で「オハヨウ」「コンニチワ」と呼びかけて入場。日本が最後に入場したあと万国博旗がファンデルリンデン議長から土光協会長に引き継がれました。

博覧会名誉総裁の皇太子殿下が開会のお言葉をのべられたあと、中曽根首相のあいさつを藤波官房長官が代読しました。

竹内科学庁長官の科学博のスタートを告げる「スイッチ・オン」引きつづきN響とロボットによる「G線上のアリア」シンセサイザー141台によるベートーベンの「第九」など華やかな演奏、演技が展開されました。

「人間・居住・環境と科学技術」をテーマにしたこの博覧会に出展参加するのは政府を始め民間企業28、海外47ヶ国、37の国際機関という拡がりを見せています。コンピューターとバイオ技術が21世紀の未来社会にどのような影響を与えるのか。

9月16日まで184日間にわたる科学の祭典を実り多いものにしたものです。